

「長野県野球協会」

～心をひとつに 前へ、前へ～

設立目的：次代を担う青少年世代の支援と野球人口増加への取り組みを推進する

すべての子どもたちのために

みんなで考え、学び、新たな野球界を

長野県野球協会

2025年11月15日(土)アジュール竹芝

野球協会設立に至る経緯



- ◆ 平成26年(2014年)1月「長野県野球関係団体懇談会」開催
 - ・ 長野県高野連が「長野県体育協会」(現：県スポーツ協会の協力を得て開催。
→高野連の目標にある「底辺拡大・競技力向上・野球振興」実現のため協力を依頼
 - ・ 県内の野球団体が一堂に会し協議会設立の方向性確認→<関係団体から情報収集>
- ◆ 平成28年(2016年)4月「長野県青少年野球協議会」設立
 - ・ 事務局を長野県高野連。県内5地区にも地区協議会が設立
 - ・ 野球の活性化と底辺拡大を目指し各地区で指導者サミット、普及イベント等が開催
- ◆ 令和2年(2020年)11月～「長野県野球協会設立準備委員会」設置
 - ・ 信濃グランセローズや大学生以上の野球団体を含「長野県野球協会」設立準備開始
 - ・ 背景：①プロアマの垣根が低くなった②「日本野球協議会」による「底辺拡大の取り組み推進」③中学校部活動の地域移行に向けて「地域の受け皿づくり」の必要性
- ◆ 令和4年(2022年)4月「長野県野球協会」設立

日本高野連・NPBなど訪問、北海道・新潟・岐阜などの先進的取組からも情報収集

長野県野球協会設立の目的及び主な事業



- ◆ 主な目的：次代を担う青少年世代の支援と野球人口増加への取り組みを推進する。また、全ての加盟団体及び各カテゴリーの競技力向上を図る。
- ◆ 目的達成のための主な事業と担当委員会
 - 1) 青少年世代の野球選手の発掘、育成事業 …青少年野球育成特別委員会
 - 2) 学童野球の組織化と学童野球への支援 …青少年野球育成特別委員会
 - 3) 野球指導者養成とその資質向上に関する事業 …指導者委員会
 - 4) 野球選手の健康管理、障害予防に関する事業 …医科学委員会
 - 5) 長野県全体の野球競技力の向上と底辺拡大の推進 …技術委員会
 - 6) 女子野球選手の育成支援 …女子野球委員会
 - 7) 野球審判組織の連携と審判技術向上 …審判・記録委員会
 - 8) プロ・アマ交流戦開催、連携事業の推進 …プロ・アマ連携委員会

(協会設立時資料) 令和4年度 長野県協会活動計画



- ◆「長野県知事杯争奪プロ・アマドリームトーナメント」の開催
- ◆「地区野球協会」への支援
- ◆「高校・大学」の硬式野球交流戦開催
- ◆「全国大会出場激励金」(学童・中・高校生の各団体2大会)
- ◆「肘・肩の障害予防事業」の構築(学童・中学生・高校生対象)
- ◆「指導者ライセンス」取得事業(青少年指導者の育成・資質向上)
- ◆「女子野球(学童・中学生・高校生)」の普及・振興
- ◆「学童野球」の全県組織化
- ◆「遊ボール(幼・保のボール遊び)」の普及(※次ページ参照)
- ◆~~「ベースボール型」授業の普及(小学校・中学校)~~ ×
- ◆「学童・中学生・高校生」の野球用具等購入時の割引制度導入

「遊ボール（幼・保のボール遊び）」の普及

◆遊ボール松本（事業開始から今年度で9年目）

※高野連「キッズファーストアクション」との連携協議中！

- ・松本市の産学民の野球関係者（市内の少年野球、硬式野球、松本大学、松本市野球場）と保育現場が力を合わせて子ども達の健全な成長に寄与することを目的。
- ・保育園、幼稚園に出向き「走る・捕る・投げる・打つ」といった野球の基本動作と野球ゲームの体験を通してスポーツの楽しさ、幼児からの運動習慣の推進を目指して地域全体に創出していくことを目指す。

※ジャイアンツメソッド(シミズオクトベースボールアカデミー)と連携

遊ボール実践活動内容一例（投げる）



- 紙鉄砲
- 紙ひこうき
- ボール投げ
- ロケット投げ
- ストラックアウト



- ・令和6年度実施回数68回。参加人数(年長・年中) 1,725名、コーチ443名(学童野球指導者)
- ・松本市のみでなく中信地区、長野県内に輪が広がりにつつある。令和4年には「遊ボールボランティア上田」が発足して活動を開始

(長野県野球協会補助事業として連携→普及推進)

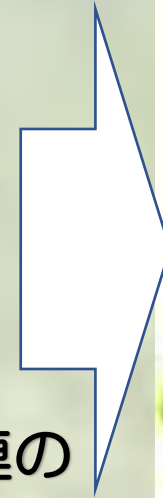
※遊ボールの情報は協会HPのトップページにも掲載中

県内全域に地区野球協会設立

黒字は「青少年協議会」から
【地区野球協会】に移行。

赤字は【地区野球協会】を
新たに設立へ。

- 現在の「地区青少年野球協議会」は高野連と中体連の連携により各地域での取り組みがスタート。
- 野球界活性化の活動の手足となる「地区野球協会」の立ち上げも高野連と中体連が担う。
- その後の取り組み推進のためには、地域で野球を育ててきた各団体及び関係者の協力が不可欠！



長野県野球協会の3年間の活動の振り返りと今後の課題



◆活動振り返り

- 学童及び中学生の野球人口が下げ止まり（全県：令和6年度）
- 中・高校の野球部員の「普及イベント」での自己肯定感・所属意識の高まり
- 各団体間での情報共有と意思の疎通がスムーズに
- プロアマトーナメントは協会の認知度の高まりと協会活動資費確保の大きな力に。また、大学・社会人のモチベーションと競技力向上に繋がっている
- △障害予防に向けた肘検診については一部地域での取り組みとなっている
- △学童の組織化については令和6年度から学童部会により取り組みが進みだした
- △中学校部活動の地域展開に向けての取り組みは地域により大きな差が見られる

◆今後の課題

- ・長野県野球協会の法人化に向けて
- ・地区野球協会の役員構成、組織力向上（地区事務局の人材確保が課題）
- ・軟式野球連盟との更なる連携強化（少年部、学童部の設立に向けて）
- ・中学校部活動の地域展開の受け皿づくりと指導者確保（クラブ化推進）

「地域移行」→今は「**地域展開**」

- ◆ 課題① 運営主体(民間企業含)・運営体制・活動資金の確保・指導者・活動場所の確保・管理運営、保険・各種大会のあり方
 - ◆ 課題② 保護者の負担有無、活動場所への保護者送迎、平日部活動のあり方(17時から地域クラブ?内容、目的)
 - ◎ 長野県内の各地域の実態を踏まえ、各市町村と学校(教員含む)、各競技団体(連盟・協会)、保護者などを交えての制度設計が重要
 - ◎ そのために、子どもたちと共に活動し、地域との繋がりもある教員(外部指導者登録の有無に関わらず)の経験と力を最大限生かすべく市町村で協力体制を構築すべき!
 - ◎ 野球協会として➡地域でのクラブ化及び指導者登録の推進
(選手のセカンドキャリア・中学校&高校野球経験者及び指導経験者に向けて)
- 今、「子どもたちのために」を第一に大人が知恵を出し合う時!

長野県の地域展開情報(北信地区野球協会の取り組み)



◎地区協議会➡地区協会の設立と普及イベントのスタートは県内で最も早く平成29年。野球振興への様々な取り組みを進めている。

◆地域展開・野球人口増加に向けた具体的な取り組み

- 1) R2～R4、地域移行を見据え指導者、市町村教育委員会、校長会などで受け皿(拠点校)、指導者確保(中学教員含)などについて協議を重ね北信全域でクラブ化を目指す
- 2) 各支部ごと軟連・所属チーム(保護者含)との話し合い➡20チームクラブ化で全域カバー
- 3) 小➡中へのスムーズな「つなぎ」を目的に12地域の高校グラウンドで小5・6年生(388人)と中1・2年生(440人:硬式・軟式)による交流会を普及イベントと同時に開催(R6年実績)
- 4) 各地域にあるクラブ一覧を「北信U-12」「北信U-15」の野球チームマップ(硬式・女子野球チーム含)として作成、小学生チームやイベント会場で配布。同マップを地域のスポーツ店に掲示するなど様々な取り組みを行い令和7年度も地区の小・中学生の野球人口は増加

◆長野県野球協会の活動は協会HP(左記QRコード)からご覧になれます。そのトップページには地域展開情報もあり、上記北信地区取組他、同地区の「千曲坂城クラブ」(スポーツ・文化芸術分野含地域クラブ)と豪雪地としても有名な飯山市の軟式野球と硬式野球の連携によるクラブ化の取り組み、南信地区の茅野市の「持続可能なクラブ運営を目指し地元企業と連携」の取り組みも紹介しています。

